

会津若松市議会 議会制度検討特別委員会

地方議会成熟度評価モデルによる  
内部評価(試行)  
評価結果

会津若松市議会  
議会制度検討特別委員会

委員長	高	梨	浩
副委員長	目	黒	章三郎
委員	高	橋	義人
委員	後	藤	守江
委員	内	海	基
委員	大	山	享子
委員	斎	藤	基雄
参考人	武	藤	みや子
参考人	安	藤	美幸

## 視点1 戦略プラン ～活動の方向性づくりと具現化～

### 確認項目① 理想的な姿の構築

議会に期待される役割を踏まえ、目指すべき理想的な姿を構想していますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
○	議会基本条例に議会の理想的な姿が明文化されているが、議会全体への浸透に向けては一層の取組を進める必要がある。

### 確認項目② 課題の明確化

理想的な姿を実現するために取り組む政策立案のテーマや、改革課題、議会改革の課題を明確化していますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	市民との意見交換会を起点として、課題を明文化し、議会として政策論議や課題解決に取り組むシステムが確立している。

### 確認項目③ 課題解決の具現化

理想的な姿を実現するための方策が、活動として具現化されていますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	決議や政策提言等への執行機関の対応状況に係る調査を実施したことは評価できる。課題解決の具体的方法については構築されている。今後は気づいた点を改革しながら、制度の更なる深化を図る必要がある。

## 視点2 政策サイクル ～議会の基本的な活動～

### 確認項目④ 住民との対話

住民との意見交換会や、議会報告会を通じて、住民との対話をもとに情報収集に取り組んでいますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	市民との意見交換会を開催し、それにより得た市民意見を委員会審査等の議会活動に反映させる仕組みが確立されている。市議会として多様な意見を取り込めるよう、制度の更なる進化（深化）が必要である。

### 確認項目⑤ 議員間の討議

議員間で討議を実施するなど、論点の明確化や合意形成に取り組んでいますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	委員会を中心に、論点を持って議員間討議を行うことが審査における一連の流れの中に位置づけられ、合意形成に向けた議員間討議を行う取組が確立している。

### 確認項目⑥ 政策立案・提言、議案審査

調査研究活動等を通じた議会独自の視点での政策立案や議案審査により、執行機関に対する監視機能の発揮が行われていますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	本市議会においては政策立案や政策提言等を行うシステムが構築されている。住民福祉の向上を念頭とした議案審査や調査研究、市民意見を起点とした政策提言などを通じて市政の監視機能を発揮しているところであるが、今般の職員の不祥事を踏まえ、監視機能の在り方について継続的な改善を図る必要がある。

### 確認項目⑦ 総合計画、政策評価、予算・決算の連動

総合計画、政策評価、予算・決算審査が連動していますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	総合計画に掲げられた施策と政策目標等に照らした論点を抽出し、予算審査と決算審査とを連動させ、住民福祉の向上につなげる取組がなされている。

## 視点3 条件整備 ～組織的基盤の強化～

### 確認項目⑧ 能力向上

のぞましい形で政策サイクルを回し議会運営を実現するため、議員と議会事務局職員が目標を定めて必要な政策立案・審議能力の向上に取り組んでいますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	議会人として組織的に必要な能力やスキルを身に付けるシステムがあり、議員及び議会事務局職員が常に知見を磨いている。

### 確認項目⑨ 体制づくりと活動基盤整備

のぞましい形で政策サイクルを回し、議会運営を実現するために、適切な体制づくりや、具体的な活動の実践に取り組んでいますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	住民福祉の向上に向けて政策サイクルを回しており、かつ、議会の理想的な姿に向けて継続的に議会改革に取り組んでいる。

### 確認項目⑩ 内部資源と外部連携の活用

議会事務局の政策調査部門、議会図書室やICTツール等の人材・情報インフラや、外部の大学の知見、他の議会等との連携を活用していますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
○	外部連携の活用の面で、大学との連携は一定程度できている。一方で、内部資源の活用の面では先進的な取組は行われていない。特に議会図書室の機能強化については、新庁舎の建設に合わせて検討する必要がある。ICT活用についてはタブレット端末が導入されたものの、より一層の活用の余地がある。

## 視点4 信頼と責任 ～議会に対する信頼の増進～

### 確認項目⑪ 法令等遵守

法令や政治倫理をはじめとしたコンプライアンスの遵守や、社会からの要請に対応していますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
○	議会基本条例や議会議員政治倫理条例により、議会の活動原則や行動規範を明確にしており、場合によっては自浄作用として議員辞職勧告決議を発する素地ができています。しかしながら、議員にコンプライアンスを理解させる研修のような取組は十分ではない。市民の議会に対する不信感の原因になることから、議会として取組を強化する必要があります。

### 確認項目⑫ 情報公開と説明責任

議会を対象とした情報公開条例や個人情報保護条例が制定され、広聴広報活動や情報公開が、分かりやすく説明責任を果たすものとなっていますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
○	議会ホームページや議会映像配信のほか、紙や音声、点字といった様々な媒体による議会広報紙の発行など、情報公開については一定程度取組がなされているが、市民からどのような情報がどのような媒体で求められているのか、また、どれだけ伝わっているかを踏まえながら、議会として更なる改善が必要である。

### 確認項目⑬ 危機管理

大災害等の非常時でも、業務継続計画（BCP）の策定や訓練の実施等、議会が有効に機能するための準備が行われていますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
○	議会BCPの策定がなされており、情報伝達訓練が行われた実績はあるものの、議員全員を対象としたより実践的な訓練を行う必要がある。また、議員へのタブレット端末の配備がなされたが、オンラインでの委員会開催に向けた条件整備には至っていない。有事において議会が停滞しないシステムの構築を急ぎ、万が一に備える必要がある。

### 確認項目⑭ 主権者教育と選挙の充実

住民の主権者意識を醸成するための教育的活動や選挙の際における投票率向上などの住民の関心を高める活動を行っていますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
○	本市議会においては、高校生によるフリースピーチなど、高校生を対象とした主権者教育の取組を進めていたところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響で中断せざるを得ない状況にあった。今後においては、高校生によるフリースピーチなど、コロナ禍以前の取組の再開や、高校生と議員との意見交換会の取組を始めるなど、若者の市議会への関心を高めるため、継続的かつ組織的な取組の検討が必要である。

## 視点5 ふり返りと学び ～ふり返りを通じた改善～

### 確認項目⑮ ふり返りの取り組み方

議会全体で、定期的な議会活動のふり返りが行われ、ふり返りの結果が公開されていますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	定例会議ごとに審査を振り返り、次の定例会議での審査に向けて準備し、政策サイクルを回している。ふり返りの結果の公表については、より市民が理解しやすいものとするため、更なる取組が必要である。

### 確認項目⑯ ふり返りの結果の活用

ふり返りの結果から明らかになった課題が全体で共有され、継続的な改革や取り組みに活用できていますか。

成熟度	評価の理由・根拠、具体的な改善点等
◎	予算決算委員会各分科会でのふり返りの結果から明らかになった課題を、議会全体に報告し共有している。また、申し送りを組織的に行うことで、任期を越えて課題を引き継ぎ、継続的な改革や取組に活用できている。